

## 議第1号

### 置賜定住自立圏共生ビジョンの改定（案）について

#### 1 改定について

##### (1) 主な改定箇所

- I (1) 生活機能の強化に係る政策分野 ④ 産業振興
- エ 広域観光の推進 4 観光施設の整備

##### (2) 改定の経緯

圏域における産業振興及び観光振興拠点として期待される複合施設「タス」について、産業振興機能の強化及び施設運営の安定化を図るため、施設の一部を長井市が取得するもの。

この事業については、財源として地域活性化事業債を活用する予定としており、11月中にビジョン改定を行った上で、12月中には県に対し必要な申請を行う必要がある。

また、長井市では12月定例議会に関連議案及び予算等の上程を予定しており、今年度中の取得を目指す。一連の手続きに関連し、この度、ビジョンを改定するものである。

2 改定（案）について（主な改定箇所）の抜粋）

(1) 生活機能の強化に係る政策分野

④ 産業振興

エ 広域観光の推進

【形成協定の内容】

取組の内容	圏域内の豊かな自然、歴史、文化等の資源を活かした広域観光の推進を図るため、観光資源の新たな発掘、魅力の向上、圏域内外への情報発信等に向けた取組を行う。
-------	---

【具体的取組】

事業名	4 観光施設の整備					
関係市町	長井市					
事業内容	<p>まなびと交流がコンセプトの施設として開館した旧長井小学校第一校舎は、国登録有形文化財でもあり、また道の駅川のみなと長井に近接しているため、まちなかの観光スポットのひとつとなっているが、夜9時30分までの開館時間にもかかわらず正面入口前に照明がなく未舗装であり不便な面があるほか、駐車場がなく集客を阻害する要因となっていることから、施設の魅力向上のため必要な整備を行う。</p> <p>コンベンションや宿泊、健康増進、オフィス等の機能を持つ複合施設「タス」は、長井商工会議所と（一財）置賜地域地場産業振興センターが主な所有者となっており、圏域における産業振興や観光の拠点としての機能が期待されるが、建設から30年以上が経過し、老朽化等によりその機能を十分に発揮できていない。令和3年度から大規模改修を実施することとしているが、改修後の活用において、地域連携DMOなどとの連携強化によって産業振興機能の強化及び施設運営の安定化を図るため、長井商工会議所が所有する一部を長井市が取得する。</p>					
期待される効果	魅力ある施設の増加により、圏域内での周遊観光の増加が期待される。					
実施スケジュール	具体的な事業項目	R1	R2	R3	R4	R5
	旧長井小学校第一校舎の外構等の整備		⇒			
	旧長井小学校第一校舎の駐車場整備			⇒		
	タスの一部取得			⇒		
事業費見込(千円)	R1	R2	R3	R4	R5	合計
		49,700	230,503			280,203
活用を想定する補助制度等	地域活性化事業債、山形県市町村振興資金					
役割分担	<ul style="list-style-type: none"> <li>長井市は旧長井小学校第一校舎の整備を行う。</li> <li>長井市がタスの一部を取得する。</li> </ul>					

注) 記載されている事業費は現時点での見込額であり、毎年度の予算で具体額を定めます。